

Google Earth に何を載せるか

2006.12.21

Google Earth <http://earth.google.co.jp/>

今日のテーマ：Google Earthに載せる新しい情報レイヤーを考える。

場所と関連づけられることで価値をもつ情報にはどのようなものがあるだろうか。

1.ブレインストーミング：A4用紙に書き出す。

「○○な人のための○○レイヤ」のように、その情報を利用する人のイメージを含めて、
どうやって元データを収集するかは不問。

1-1. ひとりで考える。3分で最低10個。

1-2. ふたりで考える。10分で30個に。

1-3. 4人で考える。20分で60個に。

2. 4人グループで、手元のアイデアのうち、面白いものTop5を選ぶ。(10分)

3. 各グループから発表、アイデアを共有。

4. 宿題：情報と場所の関係について論ぜよ。A4用紙1枚にまとめる。次回の1月11日に提出。

●
ブレインストーミングの10か条 -- 『プロジェクトブック』p.36より

量より質という言い方があるが、ブレインストーミングにおいてその二つは対立項ではない。

アイデアの量が質を生み出すのだ。有効なブレストのための10か条は以下の通りである。

- | | |
|-------------|---|
| 1. 批判しない | ブレストの目的はアイデアを収斂させることではなく、限りなく拡張していくことである。 |
| 2. 誰でもいい | ブレストの場において、アイデアの「所有」「責任」といった概念は存在しない。誰から出たアイデアであろうとも、自由にいじりませ! |
| 3. かぶってもいい | アイデアが重複することを恐れるな。「重複」=「同じ」ではない。 |
| 4. ゴールをクリアに | 目的が不明確なブレストは行うべきではない。 |
| 5. 時間を区切る | ブレストもまたスポーツである。 |
| 6. 場所が大事 | 成功するブレストのためには、行われる場所が重要である。歩き回れるぐらい広さに余裕があること、気が紛れるエリアや眺め、グッズがあること、良いデザインツールが揃っていること、何よりも気持ちのいい場所であること。 |
| 7. ポジショニング | 役割分担をして、効率よくアイデアを吐き出せ! |
| 8. とにかく喋れ | ブレストにおいて沈黙は犯罪である。いいかげんな思いつきに新たな展開が含まれている時もある。 |
| 9. 視線を泳がせる | たまにブレストの外に意識を切り替えて、様々な視点から思考すること。 |
| 10. メモはとるな | ブレストでは、アイデアを吐き出すことに集中しろ!記録はトラックの役目である。 |

アイデアには3種類しかない。--加藤昌治『アイデア会議』大和書房、2006、p.20

1. 自分で出せたアイデア
2. 自分には出せなかったけど、すごくよくわかるアイデア
3. 自分にはまったく想像もつかなかったアイデア